

## なごやか地域福祉2020の策定について

「なごやか地域福祉2020」は、今年3月23日に開催される第4回策定懇談会での検討を経て、3月末に策定となります。計画の冊子は、4月末頃に市政情報センターや各区役所の情報コーナー、市・区社会福祉協議会等にて配布する予定です。ぜひ手にとってご一読ください。

### 策定の歩み

市政アンケートや福祉団体等へのアンケート調査を土台として、計画策定のための議論を進めてきました。

各種アンケート



パブリックコメント

公表へ

先進的な地域福祉活動を現地視察

策定懇談会及び作業部会を開催し、地域課題や解決のための方向性を議論

市民及び福祉団体等へのアンケート調査を実施

市・市社会福祉協議会で合同設置した幹事会とワーキングにて、地域の福祉課題等を議論



策定懇談会



ワーキング



現地視察



公式ホームページでは、計画の策定及び推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

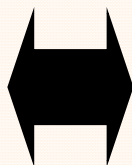
検索



## 計画の推進にあたって

本計画の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）の5カ年とします。進行管理・評価は、市及び市社会福祉協議会が一体となって設置する進行管理のための幹事会・ワーキング及び市民、各分野の活動関係者及び学識経験者等で構成する「地域福祉に関する懇談会」から意見を聴取することにより行います。

地域福祉に関する  
懇談会  
(学識経験者、団体関係者、  
市民活動関係者、市民委員)



なごやか地域福祉2020  
推進幹事会・ワーキング  
(市・社会福祉協議会の関係部署)



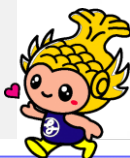
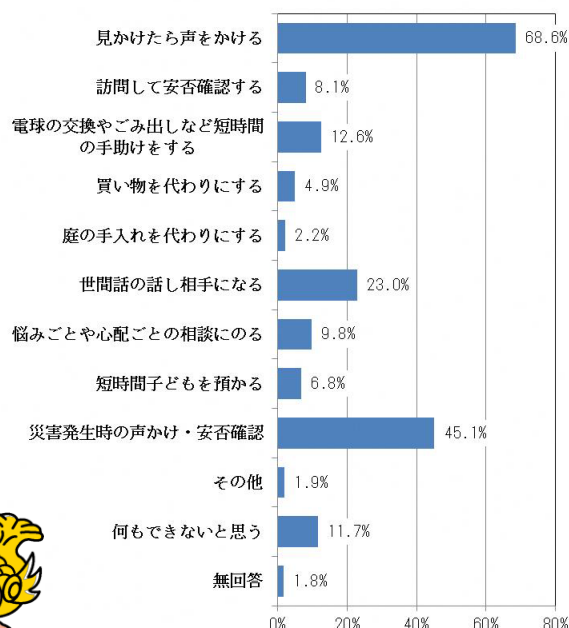
つながり支えあう地域をつくる。私たちは何から始めたらよいのでしょうか？

市民の方を対象にした市政アンケートでは、地域のつながりが「薄い」又は「薄れてきている」と回答した人が84.2%でしたが、一方で、地域の住民同士が助けあいとしてできることとして、7割近くの方が「見かけたら声をかける」と答えています。

つながり支えあう地域をつくることは、とても大変な取り組みのようなイメージがあるかもしれませんが、それは挨拶を交わしたり、地域の行事に参加したりという日常的な営みの延長線上にあります。その日頃のつながりが、助けあいや支えあいのきっかけとなったり、災害時の大きな支えとなったり、いざというときの安心感につながります。

私たちは、いつでも、つながり支えあう地域をつくり始めることができるのです。

～市政アンケート結果（平成30年度実施）より～  
問「あなたは、地域の住民同士の「助け合い」として、何ができると思いますか。（〇はいくつでも）」



## 会議傍聴のお知らせ(第4回策定懇談会)

日 時 : 令和2年3月23日(月) 10時00分～正午  
会 場 : 名古屋市役所本庁舎(5階) 正庁  
(名古屋市中区三の丸三丁目1番1号)  
受 付 : 当日受付午前9時から9時45分に現地。10名まで。



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367